

令和7年度 要望に対応した新規課題と設定理由(林業)

研究課題名(細目課題名)	要望の概要／設定理由	研究の概要	所属(研究室)	研究期間	試験研究基本計画2025の重点研究目標
航空レーザ計測データを活用した材積等推定手法の確立 (航空レーザ計測データを用いた材積推定手法の検証、システム収穫表の作成、成長予測モデル式の検討)	(要望の概要)	航空レーザ計測データの成果をもとに現地調査との比較を行い、新たな成長予測モデルを開発し材積等の推定手法の検討を行う。	技術開発部(森林機能グループ)	2025～2027	ア 循環型林業の推進のためのスマート林業及び木材利用の推進
	航空レーザ計測データを用いた新たな成長予測モデルを構築し、森林情報に反映させる手法の開発を要望する。 (設定理由) 航空レーザ計測データを活用した材積等の推定手法を開発することで、精度の高い森林情報が把握でき、森林所有者への施業提案等で活用されることにより、循環型林業の推進が期待される。				
エリートツリー等の挿し木苗生産技術に関する研究 (採穂木の育成・管理手法の開発、挿し木苗の育苗技術の開発)	(要望の概要)	遺伝的特性の明らかな苗木の安定供給を図るため、採穂木の育成・管理技術を検討するとともに、挿し木苗の育苗方法の検討を行う。	技術開発部(森林機能グループ)	2025～2027	イ 森林の整備による多面的機能の発揮
	エリートツリーや花粉症対策の優れた遺伝形質を確実に受け継ぐ挿し木苗の生産技術の開発を要望する。 (設定理由) 優れた遺伝形質を有するエリートツリー等の挿し木苗の生産術を開発することにより、苗木の安定供給及び植栽地の増加につながり、花粉発生源対策及び循環型林業の推進が期待される。				